

「加計学園問題での萩生田官房副長官の態度はどうにか  
なりませんか？」

平成 29 年 7 月 11 日

●ひろちゃんさんからの質問

加計学園問題で政権側、特に萩生田官房副長官の対応は安倍さんの真摯な対応するとのことよりかけ離れている。西田議員の意見伺いたい。

●西田昌司の答え

萩生田官房副長官は悪い人ではありませんが、体が大きいので普通にしていっても威張っているように見えてしまうところがあります。安倍総理が丁寧に対応されているのですから、側近の方々もより丁寧な対応を心がけるべきと私も思います。

官房長官や官房副長官は、良いことをしたとしても総理の威を借る狐のごとく非難されますし、悪いことをしたらそれこそ非難の集中攻撃に晒されるという非常に気の毒な立場にあります。であるからこそ非常に大事な仕事なのです。

萩生田官房副長官には割り切れない思いがあるのかもしれませんが、もう少し丁寧な、腰を低くした対応をされる方が要らぬ誤解を招かずに済みますし、その方が国民の共感を得られることでしょう。フェイクニュースで困っておられる安倍総理を助けることにもなろうかと思えます。ここはしっかりとした対応を期待したいところです。

反訳：ウッキーさん

Copyright : 週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>